

上板橋第二中・向原中 統合準備委員会ニュース

発行日：平成 29 年 2 月 7 日
開催日：平成 29 年 1 月 18 日
発行：板橋区教育委員会事務局
新しい学校づくり課
学校配置調整担当課長
電話 3579-2624

第4号

第4回統合準備委員会では、前回の統合準備委員会決定された校歌や校章、制服に関する取扱いの方向性について確認するとともに、新上板橋第二中学校設計説明会実施スケジュールについての説明、通学区域の変更についての意見交換が行われました。

会長挨拶

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。前回の第3回統合準備委員会では、懸案事項でありました校歌や校章、制服について、皆様のご協力をいただき一定の結論、方向性が確認できました。この内容につきましては、1月12日に開催されました教育委員会に報告しており、教育委員会でも了承いただきました。今後も記念室の設置や通学区域などの検討事項がありますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

本日の議題ですが、主に、通学区域の変更について検討をお願いしたいと思っております。また新しい上板橋第二中学校の設計についても順次進めておりまして、この件につきましても皆様方に随時ご報告しながら進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

事務局からの報告事項

平成29年1月12日（木）に開催された教育委員会に、前回の統合準備委員会決定された校歌や校章、制服に関する取扱いについて、下記のとおり報告し、了承いただきました。

◆校歌について⇒『上板橋第二中学校の校歌を引き継ぐ。』

統合記念の歌等を作成することについては、必要に応じて検討します。

◆校章について⇒『上板橋第二中学校の校章は変更せず、上板橋第二中学校の校章に向原中学校の校章のモチーフなどを加えて再デザインする。』

デザインについては統合となる平成30年度から検討を開始し、平成30年度中に意見集約することを目標とします。平成31年度は再デザインの校章への移行準備期間とし、新校舎が完成する平成32年度からは再デザインされた校章を使用していきます。

◆制服について⇒『制服を新調する場合は、新校舎が完成する平成32年度の新1年生からとする。』

学校統合後の平成30年度からの2年間で、制服を新しくするかも含めて検討します。

なお、上板橋第二中学校で過ごす平成30年度からの2年間については、上板橋第二中学校の制服を着用するものとします。

※学校統合により新たに必要となる制服などの学用品については、教育委員会で負担するよう調整中です。

新上板橋第二中学校設計説明会

近隣の小学校において、新上板橋第二中学校の設計説明会を開催しています。2月には上板橋第二小学校と大谷口小学校で行う予定です。（模型を使用しながら計画案について説明します。）近隣の小学校に通うお子さんの保護者の方々を対象にしており、どちらの日程にもご参加いただけます。申し込みは不要ですので、直接ご来場ください。

小学校	実施日	時間	場所	備考
向原小学校	1月21日（土）	11：45～13：00	ランチルーム	土曜授業プラン終了後
板橋第十小学校	1月26日（木）	16：00～17：00	図書室	
上板橋第二小学校	2月18日（土）	12：00～13：00	体育館	土曜授業プラン終了後
大谷口小学校	2月22日（水）	16：00～17：00	ランチルーム	

通学区域変更について

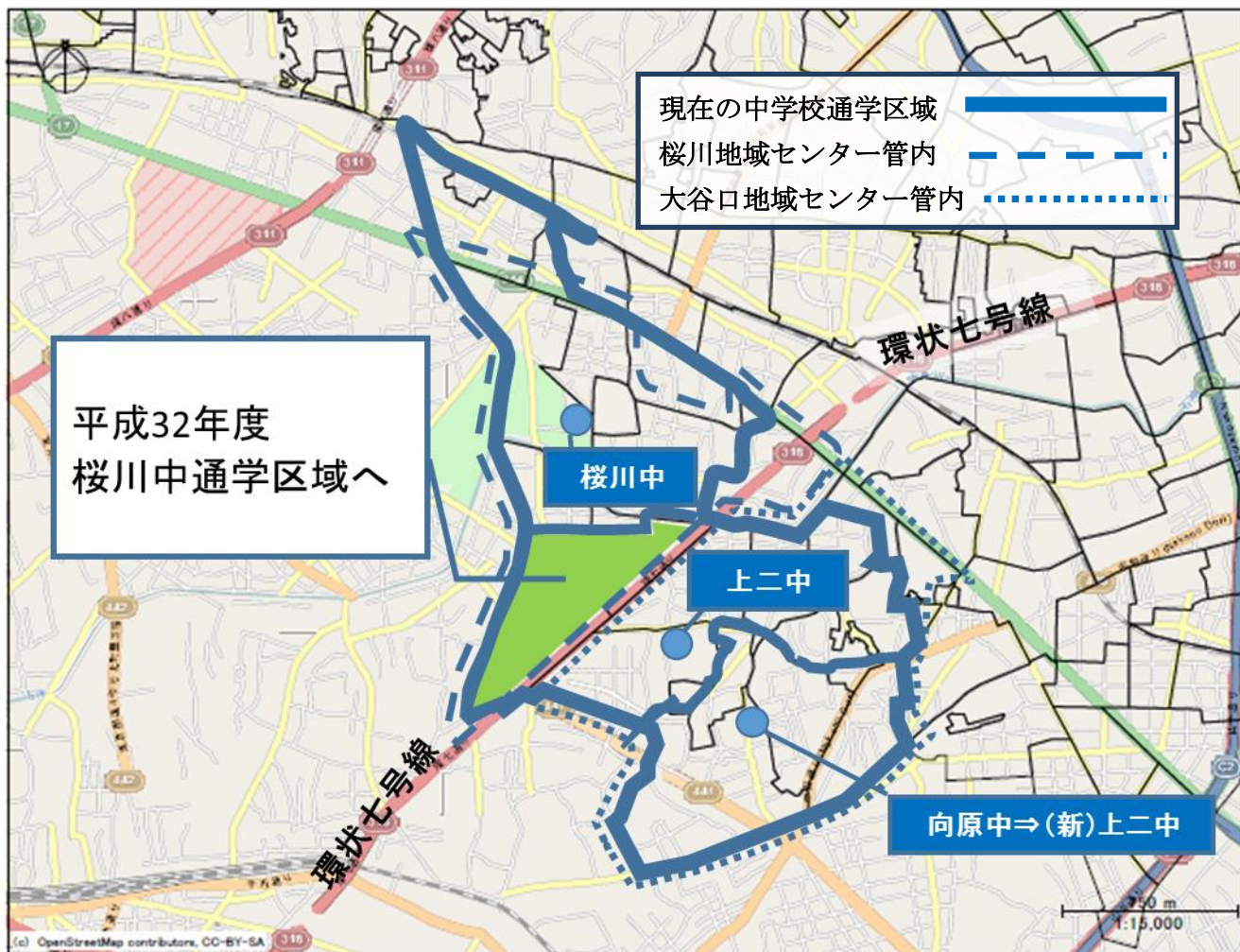
事務局から統合後の通学区域変更案をお示しし意見交換を行い、案のとおり変更していくことが確認されました。

【変更案】平成32年度、現在の向原中学校の校地に新校舎が完成し移転する時に、現上板橋第二中学校の通学区域である環状七号線の北西の地域（下表区域のCの地域）を桜川中学校の通学区域とします。

※なお、通学区域変更後、入学校については柔軟な対応ができるように調整中です。

（右ページ、【主な意見交換】の内容をご参照ください。）

	区 域	現在の通学校	統合時 (平成30年度) の通学校	新校舎 移転時 (平成32年度) の通学校
A	大谷口一～二丁目 向原一～三丁目	向原中	上二中	上二中
B	大谷口北町 6～8、16～43、49～90 番 大谷口上町 29～35、42～91 番 小茂根一丁目、小茂根二丁目	上二中	上二中	上二中
C	小茂根三丁目 1～6 番、10～17 番 小茂根四丁目 小茂根五丁目 1～7 番	上二中	上二中	桜川中



【主な意見交換】

- 委員： 今回新しい学校を建てた場合、練馬区などからも入学できるのでしょうか。
- 事務局： 校舎が新しくなると上板橋第二中学校に通う方が増えてくることが想定されます。区外からの入学者数についても推計に反映していかなければならないと思います。
- 会長： 練馬区から入学したい人はどうなりますか。
- 事務局： 練馬区からの区域外就学につきましては、その学校の受入れ可能数の範囲で受け入れることとなります。板橋区と練馬区との話し合いで受入れ可能数を決めていきます。
- 会長： 現に周辺の小学校では受入れがかなり厳しい学校があります。例えば板橋第五小学校は以前は他区からも受け入れていましたが、現在は受入れを行っていません。兄弟関係などで入学を希望された場合、学校としても断れないという状況もあります。そういうことも加味して早い段階で対策を取っていく必要がありますが、板橋区民を最優先で受け入れる方向で進めていきたいと思っています。
- 委員： 上板橋第二中学校通学区域の北東側と川越街道との間は大谷口地域センター管内になりますが、その地域も川越街道で通学区域の境界線を引き、上板橋第二中学校の通学区域とすることができないのでしょうか。
- 事務局： 町会・自治会の境界線、特に地域センターの境界線等は通学区域を検討していく際の配慮すべき点です。一方、板橋区としては、12～18 学級を適正規模としています。大谷口地域センター管轄の境界線に合わせて川越街道まで通学区域を広げてしまうと上板橋第二中学校が適正規模を上回る可能性が十分予測されますので、現在のところ難しいと思っています。今後新しい上板橋第二中学校ができた段階で将来推計などを見ながら、通学区域を見直したほうがよいという予測が立つならば、検討していく必要があると考えています。
- 会長： お話しいただいた地域は上板橋第一中学校の通学区域ですので、上板橋第一中学校の規模が小さくなってしまうという問題も生じますし、通学距離も長くなりますので現段階で通学区域を変更することは難しいと思います。
- 委員： 桜川地域センター管轄の境界線でもある環状七号線に沿って区切ったということで、関係する町会の方から異論がなければこの事務局案で賛成です。通学区域の変更後に桜川中学校の通学区域となる地域にお住いの生徒が、新しい上板橋第二中学校に行きたいという場合、柔軟な対応は可能でしょうか。
- 事務局： 変更になった通学区域を、原則 2 年間、最長 5 年間、上板橋第二中学校としての学区域も併せ持つ形の調整区域とすることも検討できます。また板橋区では入学予定校変更希望制を実施しておりまして、例えば通学距離が近い、兄弟関係がある、部活動の関係、などで他校を希望される場合、受入れ校の状況に応じて柔軟な対応ができると考えています。
- 調整期間を設けるか、入学予定校変更希望制のみで対応するかにつきましては、内部で協議をして方針を決めていきたいと思っています。いずれにしても学校の受入れ可能数の範囲で柔軟に対応していきたいと思っています。
- 委員： 将来の学校規模やクラスの数を考えれば、この通学区域の事務局案が妥当かと考えます。青少年健全育成については地域と通学区域は同じほうがよいと思います。将来的に小学校の通学区域についても検討して行ってほしいと思います。今回、桜川中学校の通学区域となる地域では、区境の開進四中に新しい校舎ができましたので、今まで以上に練馬区の学校に入学してしまうのではないかと考えています。先日、この地域の町会の役員さんとも話しましたが、この事務局案でいたしかたないということでした。
- 事務局： 今回は中学校の統合ということで、まずは中学校の通学区域について事務局案を提示させていただきました。小学校の通学区域も町会・自治会の境界と合わせるべきという課題は事務局も認識しておりますので、継続して考えていきたいと思っています。
- 委員： 以前の協議会の中で、小中一貫のお話をさせていただきましたけれども、教育委員会ではどの辺りまで検討が進んでいますか。

事務局： 小中一貫教育の検討状況ですが、今年度、事務局の所管課長と、小学校と中学校の校長先生の代表一人ずつに入っていていただいて検討会を進めています。現在までに6回開催し、29年度も検討を継続していく予定です。先行自治体での課題や成果について情報を共有し、板橋区で導入する際の課題を抽出しました。学校建設の分野では、安全面など施設の仕様の部分について検討し、課題について話し合いを進めています。29年度以降これらの検討を深めていきたいと思っています。

委員： 小・中学校が別の敷地でもよいのですか。

事務局： 施設一体型の学校だけでなく、小・中学校別の敷地の施設分離型の学校も小中一貫校となります。両方の可能性を考えていくことになっています。

委員： 通学区域の変更については事務局案でよいと思います。個々に家庭の事情があると思いますので、通学校については柔軟な対応をお願いします。

委員： 私も同じ意見です。よい感じで着地したと思います。

会長： 皆様から事務局案でよいのではないかというご意見をいただきました。この方向でまとめさせていただきますのでよろしく願いいたします。

統合に向けた準備について (向原中学校校長先生より)



統合に向けた準備の状況について、向原中学校の校長先生にお話を伺いました。

「3学期になりまして、今年度の教育活動を振り返り、次年度の計画を少しずつ立て始めているところです。

向原中学校は最後の1年ということになりますので、すべての行事が最後になります。来年度入学してくる1年生と、2年生の生徒が統合していくことになりますので、交流活動も上板橋第二中学校と相談しながら進めていきたいと思っています。教員間の情報共有や、教科で履修の積み残しが無いように教科間で事前にきちんと連絡を取り合うなどの準備を年度内に進めていこうと思っています。

閉校式は3月に行いたいと考えていますが、現時点では日程は確定していません。内容は閉校式とPTAの企画運営部分になる予定です。名称はまだ決まっていますが、「閉校を惜しむ会」というような名称になるかと思っています。

新入生の数ですが、現在13～14名の入学予定者がいらっしゃいます。今の1年生29名、全体で40名前後の生徒が統合するとき上板橋第二中学校の生徒と一緒にするという状況です。また新年度以降、最後の1年間の教育活動の中では、地域の方々のご協力やご支援をいただきながら、統合に向けて取り組んでいきたいと思っていますのでご協力をお願いします。」



次回予定

平成29年2月15日(水) 午後6時30分～午後8時00分

場所： 上板橋第二中学校 2階 ランチルーム

次回協議内容予定

- ・平成28年度の検討内容のまとめ
- ・平成29年度のスケジュールについて など

委員会は原則傍聴できます。詳しくは下記までお問い合わせください。

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり課 学校配置調整第一グループ

電話 3579-2624 FAX 3579-4214

※上板橋第二中・向原中統合準備委員会ニュースは区ホームページからご覧いただけます。

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/079/079799.html